指示があるまで開いてはいけません

令和８年度
群馬県毒物劇物取扱者試験問題
（　一　　般　）

試験時間：午後１時から午後２時３０分まで
試験科目及び出題数
「筆記試験」
　Ⅰ 法規（１０問）
　Ⅱ 基礎化学（１０問）
　Ⅲ 性質及び貯蔵その他取扱方法（１０問）
「実地試験」
　Ⅳ 識別及び取扱方法（１０問）

★★★受験の際の注意事項★★★

１　試験問題とは別に解答用紙（マークシート）を１枚用意してありますので、問題の解答は、必ず解答用紙に記入してください。
２　解答用紙への記入は、鉛筆またはシャープペンシルで該当となる番号をぬりつぶし、誤ったときは、消しゴムであとが残らないようよく消してください。
３　解答用紙に「受験番号」と「区分」及び「氏名」を必ず記入し、「受験番号」及び「区分」の該当する数字をぬりつぶしてください。
４　解答は、「筆記試験」については解答欄１～４から、「実地試験」については解答欄１～７及び１～３から、解答となる１つの番号を選び、ぬりつぶしてください。なお、２か所以上ぬりつぶした場合は得点になりません。
５　試験終了後、解答用紙は提出し、試験問題についてはお持ち帰りください。

※受験番号と区分の記入例
（受験番号が「１２３４」、試験区分が「一般」の場合）

解答用紙（受験番号及び区分欄）

受験番号				区分	
1	2	3	4	一般	
●	①	①	①	●	一般
②	●	②	②	②	農業用品目
③	③	●	③	③	特定品目
④	④	④	●		

※解答の記入例（筆記試験の場合）
（解答「１」の場合）

試験問題
問１　次の市のうち、群馬県の県庁所在地はどれか。
　１　前橋市
　２　高崎市
　３　伊勢崎市
　４　太田市

解答用紙（解答欄）

問題番号		解答欄
	問１	● ② ③ ④
	問２	① ② ③ ④

Ⅰ　法規（一般、農業用品目、特定品目共通）

問１　次のうち、毒物及び劇物取締法第２条第３項の規定により、特定毒物に定められているものとして、正しいものの組合せはどれか。

ア　燐化アルミニウムとその分解促進剤とを含有する製剤
イ　シアン化水素
ウ　四アルキル鉛
エ　弗化水素を含有する製剤

１　（ア，ウ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（イ，エ）

問２　次の文は、毒物劇物営業者の設備基準について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　毒物を陳列する場所にはかぎをかける設備が必要だが、劇物を陳列する場所にはかぎをかける設備は不要である。
イ　毒物劇物製造業者が毒物の製造作業を行う場所は、毒物が地下にしみ込むおそれのない構造でなければならない。
ウ　劇物を貯蔵する場所が性質上かぎをかけることができないものであるときは、その周囲に、堅固なさくを設ければよい。
エ　劇物の貯蔵設備は、劇物とその他の物とを区分して貯蔵できる設備でなくてもよい。

	ア	イ	ウ	エ
１	誤	正	誤	誤
２	正	誤	正	誤
３	正	正	誤	正
４	誤	正	正	誤

問３　次の文は、毒物劇物取扱責任者について記述したものである。正しいものの組合せはどれか。

ア　都道府県知事が行う毒物劇物取扱者試験に合格しても、20歳以上の者でなければ毒物劇物取扱責任者にはなれない。
イ　一般毒物劇物取扱者試験に合格した者は、一般販売業の店舗において毒物劇物取扱責任者となることができるが、農業用品目販売業や特定品目販売業の店舗においては毒物劇物取扱責任者となることができない。
ウ　厚生労働省令で定める学校で、応用化学に関する学課を修了した者は毒物劇物取扱責任者となることができる。
エ　毒物劇物販売業者が毒物劇物取扱責任者を置いたときは、30日以内に届け出ればよい。

１　（ア，イ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（ウ，エ）

問４　次の文は、毒物及び劇物取締法第１４条第１項の記述である。（　　）にあてはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は授与したときは、その都度、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。
一　毒物又は劇物の（　ア　）
二　（　イ　）
三　譲受人の氏名、（　ウ　）及び住所（法人にあつては、その（　エ　）及び主たる事務所の所在地）

	ア	イ	ウ	エ
１	名称及び数量	毒物又は劇物の使用目的	職業	代表者氏名
２	成分及び含量	販売又は授与の年月日	年齢	名称
３	名称及び数量	販売又は授与の年月日	職業	名称
４	販売金額	毒物又は劇物の使用目的	年齢	代表者氏名

問５　次のうち、毒物及び劇物取締法第３条の４の規定により、引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物として政令で定められており、業務その他正当な理由による場合を除いては、所持してはならないものとして、正しいものの組合せはどれか。

ア　メタノール
イ　亜塩素酸ナトリウムを 30％含有する製剤
ウ　ピクリン酸
エ　塩素酸ナトリウムを 30％含有する製剤

１　（ア，イ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（ウ，エ）

問６　次の文は、毒物及び劇物取締法第４条に規定する営業の登録について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　毒物又は劇物の製造業の登録は、製造所ごとにその製造所の所在地の都道府県知事が行う。
イ　毒物又は劇物の輸入業の登録は、営業所ごとに厚生労働大臣が行う。
ウ　毒物又は劇物の販売業の登録は、店舗ごとにその店舗の所在地の都道府県知事（その店舗の所在地が、地域保健法第５条第１項の政令で定める市又は特別区の区域にある場合においては、市長又は区長。）が行う。
エ　製造業、輸入業及び販売業の登録は、６年ごとに更新を受けなければ、その効力を失う。

	ア	イ	ウ	エ
１	誤	正	正	誤
２	正	正	誤	誤
３	誤	正	正	正
４	正	誤	正	誤

問７　次の文は、毒物又は劇物の表示について記述したものである。正しいものはどれか。

１　毒物については、「医薬用外」の文字及び白地に赤色で「毒物」の文字を、劇物については、「医薬用外」の文字及び赤地に白色で「劇物」の文字を容器及び被包に表示しなければならない。
２　毒物については、「医薬用外」の文字及び黒地に白色で「毒物」の文字を、劇物については、「医薬用外」の文字及び白地に赤色で「劇物」の文字を容器及び被包に表示しなければならない。
３　毒物劇物営業者は、その容器及び被包に劇物の名称及びその成分を表示していれば、その含量を省略して劇物を販売することができる。
４　特定毒物研究者は、毒物又は劇物を貯蔵する場所に、「医薬用外」の文字及び毒物については「毒物」、劇物については「劇物」の文字を表示しなければならない。

問８　次のうち、あせにくい黒色で着色したものでなければ、毒物劇物営業者が農業用として販売できないものとして、正しいものの組合せはどれか。

ア　硫酸タリウムを含有する製剤たる劇物
イ　塩素酸塩類を含有する製剤たる劇物
ウ　燐（りん）化亜鉛を含有する製剤たる劇物
エ　沃（よう）化メチルを含有する製剤たる劇物

１　（ア，イ）
２　（ア，ウ）
３　（イ，エ）
４　（ウ，エ）

問９　次の文は、毒物劇物営業者が毒物及び劇物取締法上、遵守しなければならない事項について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物であって政令で定めるものを交付する際は、厚生労働省令の定めるところにより、その交付を受ける者の職業及び年齢を確認しなければならない。
イ　毒物又は劇物を廃棄する場合は、政令で定める技術上の基準に従わなければ廃棄してはならない。
ウ　毒物又は劇物が盗難にあった場合だけでなく、紛失した場合であっても、直ちに、その旨を警察署に届け出なければならない。

	ア	イ	ウ
1	正	正	誤
2	正	正	正
3	誤	正	正
4	正	誤	正

問 10　次のうち、毒物及び劇物取締法第１０条に規定する毒物劇物販売業者が変更の届出をしなければならないものとして、正しいものの組合せはどれか。

ア　毒物劇物販売業者が法人の場合、その名称を変更したとき
イ　毒物劇物販売業者が法人の場合、その主たる事務所の所在地を変更したとき
ウ　毒物劇物販売業者が法人の場合、その役員を変更したとき
エ　当該店舗を他の場所へ移転したとき

1　（ア，イ）
2　（ア，エ）
3　（イ，ウ）
4　（ウ，エ）

Ⅱ　基礎化学（一般、農業用品目、特定品目共通）

問１　次のうち、「同一圧力、同一温度、同一体積のすべての種類の気体には同じ数の分子が含まれる」という法則の名称として、正しいものはどれか。

1　ボイル・シャルルの法則
2　ルシャトリエの法則
3　アボガドロの法則
4　ヘンリーの法則

問２　次のうち、芳香族化合物はどれか。

1　フェノール
2　エチレングリコール
3　シクロヘキサン
4　イソプロパノール

問３　次の文は、酸化還元反応について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　還元剤は、反応相手の物質より還元されやすい物質である。
イ　物質が水素を失ったとき、その物質は酸化されたという。
ウ　原子が電子を失うことを、還元されたという。
エ　物質が酸素と結合したとき、その物質は酸化されたという。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	誤	誤	誤
2	誤	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正

問４　塩化ナトリウム 46.8ｇに水を加えて 250mL の水溶液をつくった場合、その水溶液中の塩化ナトリウムのモル濃度は何 mol/L となるか。ただし、原子量は、Na＝23、Cl＝35.5 とする。

1　0.8 mol/L
2　1.6 mol/L
3　2.4 mol/L
4　3.2 mol/L

問５　次の元素のうち、イオン化傾向が最も小さいものはどれか。

1　鉄（Fe）
2　スズ（Sn）
3　ニッケル（Ni）
4　マグネシウム（Mg）

問６　次の文は、酸と塩基について記述したものである。（　　）にあてはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

酸とは、水溶液中で電離して、（　ア　）イオンを生じる物質である。
塩基とは、水溶液中で電離して、（　イ　）イオンを生じる物質である。
酸性の水溶液は、（　ウ　）色リトマス紙を（　エ　）色に変え、アルカリ性の水溶液は、（　エ　）色リトマス紙を（　ウ　）色に変える。

	ア	イ	ウ	エ
1	水素	水酸化物	青	赤
2	水素	水酸化物	赤	青
3	水酸化物	水素	青	赤
4	水酸化物	水素	赤	青

問７　次のうち、カルボン酸とアルコールが脱水縮合して生成する化合物の総称として、正しいものはどれか。

１　ケトン
２　ニトリル
３　アルデヒド
４　エステル

問８　次の（　　）にあてはまる数字のうち、正しいものはどれか。

5 ppm は、（　　）％のことである。

１　5
２　0.05
３　0.0005
４　0.000005

問９　次のうち、アミノ酸の検出に用いられる反応の名称として、正しいものはどれか。

１　ニンヒドリン反応
２　銀鏡反応
３　ルミノール反応
４　ヨウ素デンプン反応

問10　次のうち、ピクリン酸に含まれる官能基として、正しいものはどれか。

1　スルホ基
2　ニトロ基
3　ホルミル基（アルデヒド基）
4　アミノ基

Ⅲ　性質及び貯蔵その他取扱方法（一般）

※注意事項

問題文中の物質の性状等に関する記述について、特に温度等の条件に関する記載がない場合は、常温常圧下における性状等について記述しているものとする。

問１　次の物質とその性質の組合せのうち、正しいものの組合せはどれか。

物質		性質
ア　四メチル鉛	―	無色で魚臭の気体。水に溶けやすい。蒸気は空気より重く、引火しやすい。腐食性が強い。
イ　硝酸銀	―	無色透明結晶。光によって分解して黒変する。強力な酸化剤であり、また腐食性がある。水に極めて溶けやすい。アセトン、グリセリンに溶ける。
ウ　モノクロル酢酸	―	無色の結晶で、潮解性がある。水に溶けやすい。アルコール、ベンゼンに溶ける。
エ　メチルアミン	―	常温において無色、ハッカ実臭をもつ可燃性の液体。ガソリンに全溶、水にわずかに溶け、日光によって分解する。

１　（ア，イ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（ウ，エ）

問２　次の文は、物質の廃棄方法について記述したものである。記述の正誤について正しい組合せはどれか。

ア　キシレンは、水に溶かし、希硫酸を加えて酸性とし、硫化ナトリウムを加えて沈殿させ処理する。

イ　水銀は、硅（けい）そう土等に吸着させ、開放型の焼却炉で焼却する。

ウ　シアン化カリウムは、水酸化ナトリウム水溶液を加えてｐＨ１１以上とし、酸化剤（次亜塩素酸ナトリウム等）の水溶液を加えてシアン成分を酸化分解する。分解したのち硫酸を加え中和し、多量の水で希釈して処理する。

エ　燐（りん）化水素は、多量の次亜塩素酸ナトリウムと水酸化ナトリウムの混合水溶液に吹き込んで吸収させ、酸化分解した後、多量の水で希釈して処理する。

	ア	イ	ウ	エ
１	誤	正	誤	正
２	誤	正	正	誤
３	正	誤	誤	誤
４	誤	誤	正	正

問３　次の文は、物質の取扱い上の注意事項について記述したものである。正しいものの組合せはどれか。

ア　トルエンは、引火しやすく、また、その蒸気は空気と混合して爆発性混合気体となるので火気に近づけない。
イ　メタクリル酸は、極めて反応性が強く、水素又は炭化水素（特にアセチレン）と爆発的に反応する。
ウ　ブロムメチルは、引火性ではないが、溶液が高温に熱せられると含有アルコールがガス状となって揮散し、これに着火して燃焼する場合がある。
エ　亜硝酸ナトリウムは、酸類を接触させると有毒な酸化窒素の気体を生成する。

１　（ア，イ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（ウ，エ）

問４　次の物質とその主な中毒症状の組合せの正誤について、正しい組合せはどれか。

物質		主な中毒症状
ア　チメロサール	―	吸入した場合は、鼻、のど、気管支の粘膜への起炎性を有し、水銀中毒を起こす。
イ　ベタナフトール	―	吸入した場合は、腎炎を起こし、重症の場合には死亡することがある。また、肝臓を障害し黄疸が出たり、溶血を起こして血色素尿を見ることもある。
ウ　ニトロベンゼン	―	吸入した場合は､皮膚や粘膜が青黒くなる(チアノーゼ)、頭痛、めまい、眠気が起こる。
エ　二硫化炭素	―	吸入した場合は、興奮状態を経て麻痺状態に入り意識が朦朧とし、呼吸麻痺を起こし、死亡することもある。

	ア	イ	ウ	エ
１	誤	誤	正	正
２	正	正	正	正
３	正	誤	正	誤
４	誤	正	誤	誤

問５　次の物質とその用途の組合せのうち、正しいものの組合せはどれか。

物質		用途
ア　蓚酸	―	野ネズミを対象とした殺鼠剤
イ　シアン酸ナトリウム	―	除草剤、鋼の熱処理
ウ　酢酸タリウム	―	鉄錆の汚れ落とし、銅の研磨
エ　アクリルアミド	―	水処理剤及び紙力増強剤の原料

１　（ア，イ）
２　（ア，ウ）
３　（イ，エ）
４　（ウ，エ）

問６　次の物質とその物質が劇物から除外される濃度の組合せのうち、正しいものの組合せはどれか。

物質		劇物から除外される濃度
ア　過酸化水素を含有する製剤	―	８％以下
イ　アクリル酸を含有する製剤	―	１０％以下
ウ　クレゾールを含有する製剤	―	５％以下
エ　シクロヘキシミドを含有する製剤	―	２％以下

１　（ア，イ）
２　（イ，ウ）
３　（ウ，エ）
４　（ア，エ）

問７　次の文は、塩素酸ナトリウムの性質等について記述したものである。正しいものの組合せはどれか。

ア　暗紫褐色の板状または針状結晶である。
イ　水に溶けにくく、風解性がある。
ウ　除草剤として用いられる。
エ　有機物、金属粉などの可燃物が混在すると、加熱、摩擦または衝撃により爆発する。

１　（ア，イ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（ウ，エ）

問８　次の物質とその適切な貯蔵方法の組合せの正誤について、正しい組合せはどれか。

物質		貯蔵方法
ア　黄燐	―	水中に沈めて瓶に入れ、さらに砂を入れた缶中に固定して冷暗所に貯蔵する。
イ　ピクリン酸	―	空気中にそのまま貯蔵することができないので、通常、石油中に貯蔵する。
ウ　カリウム	―	低温では混濁するので常温で貯蔵する。
エ　水酸化ナトリウム	―	二酸化炭素と水を吸収する性質が強いので、密栓して貯蔵する。

	ア	イ	ウ	エ
１	正	誤	正	誤
２	誤	正	誤	誤
３	誤	誤	正	正
４	正	誤	誤	正

問９　次の物質とその適切な解毒剤又は治療薬の組合せのうち、正しいものはどれか。

物質		解毒剤又は治療薬
１　有機燐化合物	―	チオ硫酸ナトリウム
２　有機塩素化合物	―	ＰＡＭ
３　有機砒素化合物	―	ＢＡＬ（※）
４　モノフルオール酢酸ナトリウム	―	亜硝酸アミル

（※）ジメルカプロールの別名

問 10　次のうち、メタノールが多量に漏えいした場合の措置に関する記述として、最も適当なものはどれか。

１　土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、多量の水で十分に希釈して洗い流す。
２　発熱を防ぐために、徐々に注水して希釈し、消石灰で中和する。
３　引火しやすいため、すばやく一度に燃焼させる。
４　酸化剤の水溶液で酸化処理を行う。

Ⅳ　識別及び取扱方法（一般）

次の物質の常温常圧下における主な性状について、最も適当なものを下欄から一つ選びなさい。

問１　カリウム

問２　ベタナフトール

問３　メチルエチルケトン

問４　アニリン

問５　無水クロム酸

問６　ホルマリン

問７　沃(よう)素

下欄

番号	性状
1	無色の光沢のある小葉状結晶あるいは白色の結晶性粉末で、かすかにフェノール臭がある。
2	暗赤色の結晶で、潮解性を有する。
3	金属光沢を持つ銀白色の軟らかい固体である。
4	無色の催涙性透明液体で、刺激臭を有する。
5	黒灰色で、金属様の光沢のある稜板状結晶である。
6	純品は無色透明な油状の液体で、特有の臭気がある。空気に触れて赤褐色を呈する。
7	無色の液体で、アセトン様のにおいを有する。

次の物質の主な鑑別方法について、最も適当なものを下欄から一つ選びなさい。

問８　ニコチン

問９　四塩化炭素

問10　臭素

下欄

番号	鑑別方法
1	アルコール性の水酸化カリウムと銅粉とともに煮沸すると、黄赤色の沈殿を生じる。
2	エーテル溶液に、ヨウ素のエーテル溶液を加えると、褐色の液状沈殿を生じ、これを放置すると赤色針状結晶となる。
3	デンプンのり液を橙黄色に染め、ヨウ化カリウムデンプン紙を藍変する。